

「志・とさ学びの日」フォーラムより

昨年11月に開催された全国生涯学習フォーラム高知大会閉会式で、毎年11月1日を高知県教育の日「志(こころざし)・とさ学びの日」とする教育宣言がされ、県民の教育に対する関心を高めるとともに、県民一人ひとりが現在の教育の在り方について見つめ直し、考える機会を設け、行動する日と制定されました。

また、毎年11月1日から7日までを「とさ学びの週間」とし、その関連行事となる「志・とさ学びの日」フォーラムが、11月6日(日曜日)県立高知追手前高等学校芸術ホールで開催されました。

開会行事のあと、高知県立大学学長南裕子さんより記念講演がありました。

自分自身のこれまでの軌跡をふりかえりながら「志」をもって行動することの大切さや、それを実現するためには「思い」と「熱」を持たなければならないこと、そして同じ「志」を持つ「なかま」をたくさんつくることが大事である事などを、母校でもある追手前高校での学生時代のことや看護師として勤めたときのことをまじえながら話していただきました。

教育宣言

高知県は、恵まれた自然環境のもと、感性に富んだ心豊かな人々や、新しい日本の創造に向かって、志高く行動する偉大な先人たちを育み、今なお全国の人々に夢や希望を与えています。

社会が大きく変化する中、こうした人々を育んだ高知の風土は、これからの時代に必要とされる貴重なものであり、次代に引き継いでいくべきものです。私たちは子どもたちの未来を思い、子どもたちの持っている可能性や潜在能力を最大限に引き出し、その夢を実現させる責務があります。

すべての県民が、教育について理解と関心を深め、高い志を持つ子どもたちを育み、ともに学びあう意識を高めるとともに、一人ひとりが学ぶ目的や喜びを自覚し、生涯にわたって学び続ける風土をつくりあげていくため、ここに11月1日を「志・とさ学びの日」とすることを宣言します。

平成22年11月22日

全国生涯学習フォーラム高知大会 賛同者一同

講演後、県内中学・高校生による「志」発表会として13本の意見発表がありました。「川を、自然を、地域を洗濯」、「地域をつつみともにはばたく」、「赤岡タウン、ドロメ維新」などの発表からは地域に密着した活動をしている高校生の思いがひしひしと伝わってきました。「僕たちの志(南海地震に関する地域防災力向上への取り組み)」では、高校生が小学生に向けて起こりうるであろう巨大地震の構造や、地震に対する心がまえなどについての地震防災授業を行ったことが発表され、これからの高知県を担う若者の育ちも感じました。

また「感謝の気持ち」では、中学校でいじめを経験し、不登校となり自宅から遠く離れた高校へ進学したが、新しいなかまや地域の方々などとのふれあいから、人と人のつながりの温かさや大切さを感じ、頑張る気持ちができ、大学へ進み教師をめざしたいという「志」を持ってたという発表もありました。

中高生の熱い思いをたくさん聞き、私自身もしっかり「志」を持って何事にも取り組まなければならないと思いました。

この11月1日を県民みんなで「高知の教育を考える日」として、さらに広がり、深まることを願いながら、共に日々の教育活動に取り組んでいきましょう。

※各市町村の社会教育関係の予定があればお知らせください。この紙面でご紹介できればと思います。(連絡先 0880-34-0866 松下・山崎)